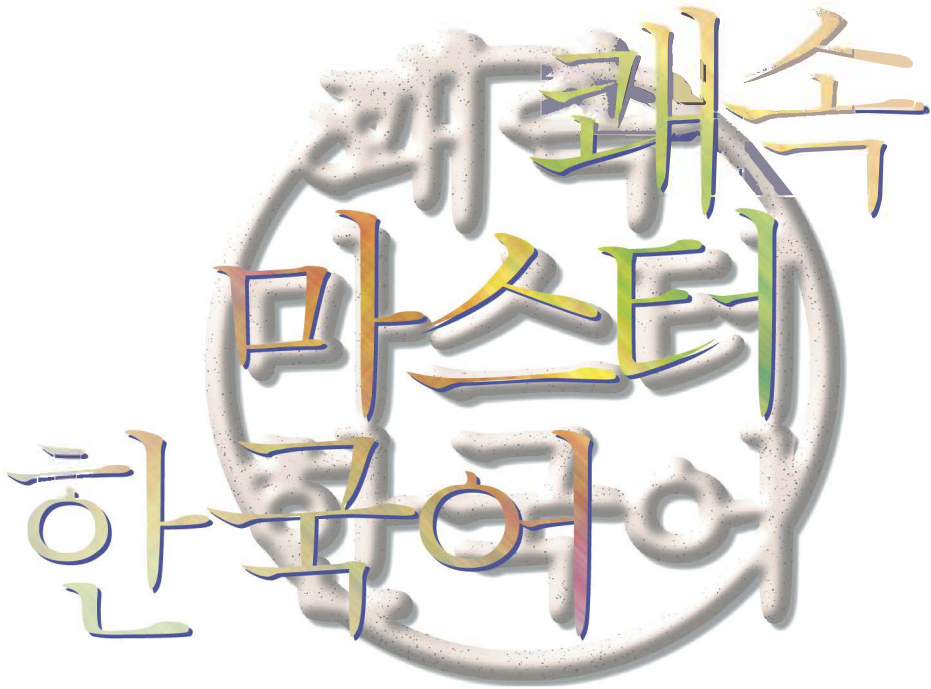


これ一冊で! 基礎を固める



快速マスター 韓国語



植田一三＝監修
(Aquaries School of Communication学長)

浅井伸彦＝著

CD
2枚付き
語研

はじめに

2003年～2004年頃には、韓国ブームも起こり、簡単に遊びに行ける身近な国として、韓国並びに韓国語への関心は、ここ数年の間に急激に変化しました。昔とは違って、今ではたくさんの韓国語の学習書が出版されていますが、日本語と語順が似ていて日本人に学びやすい言語であるわりには、韓国語を実際に話せるようになる人は、まだわずかのように思われます。その理由として、「漢字がなく、ハングルが記号のようで覚えるのが大変」「どれくらい勉強すれば、どのくらい話せるようになるかがわからない」といったことが考えられます。

そこで本書では、「少しでもハングルの覚えやすくすること」「韓国語学習にも漢字を活用すること」「初級韓国語の範囲を明確にすること」を主要な柱とし、日本語と韓国語の比較言語学的アプローチという画期的な方法で「韓国語の必修文法」を効果的にマスターし、「最低限必要な実践的韓国語会話」を習得し、「必修基礎単語1700語」で語彙力をつけるという類書には絶対見られない画期的な試みにチャレンジしました。

本書は韓国語初学者をはじめ、韓国語を始めたが伸び悩んでいる方や、一度あきらめてしまったけれど、もう一度韓国語の習得にチャレンジしたい方、ビジネスで必要なため、できるだけ早く仕事で使えるレベルの韓国語を習得したい方、ハングル検定5級、4級などの各種試験を受験される方々まで、いろいろな方のニーズに応えることのできる「韓国語短期集中マスター」のバイブルとも言える一冊だと確信しております。

本書の刊行にあたって、(株)語研編集部の島袋一郎氏には貴重なアドバイスをいただき、編集作業に尽力頂いたことを、深く感謝申し上げます。また、この本の執筆にあたっては、최용준さんには大部分においての執筆協力と校正にご協力いただき、また장세호さんと강은미さんにもご協力いただいたことに心からお礼申し上げます。

2009年5月

植田一三 & 浅井伸彦

目次

はじめに.....	iii
本書の特長と使い方.....	viii

快速マスター「必修文法」編

イントロダクション..... 2

韓国と韓国語について 2

第1課 ハングルの仕組みと母音を覚えよう！..... 4

- | | |
|----------------------|----------------------|
| 1. ハングル文字の種類はこれだけ！ 4 | 3. ハングル文字にもリエゾンが?! 6 |
| 2. ハングル文字の作り方と読み方！ 4 | 4. 母音の発音を覚えよう！ 6 |

第2課 子音とパッチムを使ってハングルを読もう！..... 12

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1. 子音の発音を覚えよう！ 12 | 3. 発音のルールを詳しく覚えよう！ 18 |
| 2. ハングルを書く練習をしよう！ 16 | |

第3課 数字の数え方は2種類もある！..... 22

- | | |
|------------------------------|--------------------------------|
| 1. 漢字が元になっている韓国語の数字を覚えよう！ 22 | 5. お金の表現を身に付けよう！ 28 |
| 2. 韓国語にも「～個, ～冊」などの表現がある！ 23 | 6. 今日, 昨日, 明日などの言い方 28 |
| 3. 年月日・曜日は日本語とそっくり！ 25 | 7. 毎日・毎週・毎月・毎年 of 言い方はたくさん！ 29 |
| 4. 時刻・時間の長さをじっくりマスター！ 26 | 8. 大体の数を述べる表現 29 |

第4課 韓国語の名詞は漢字を見ればピンとくる？..... 32

- | | |
|------------------------|----------------|
| 1. 韓国語の名詞は漢字語がたくさん！ 32 | 韓国語の3つの壁の突破 41 |
| 2. 代名詞を韓日比較してみよう！ 33 | |

第5課 韓国語文法は日本語とそっくり！..... 42

- | | |
|--------------------------------|--------------------|
| 1. 韓国語の文法構造を見てみよう！ 42 | 3. 動詞が含まれない文の語尾 50 |
| 2. 韓国語の助詞「は, が, の, に, を, も」 43 | |

第6課 動詞の変化の仕方をマスターしよう！..... 56

- | | |
|---------------------------------|------------------------------|
| 1. 動詞には大きく分けて3つの活用種類がある！ 56 | 4. 名詞にも動詞にも使える確認の‘지요(ㅈ)’! 63 |
| 2. 動詞の否定文や疑問文をマスターしよう！ 60 | 5. ㄹ語幹の活用に気をつけよう！ 63 |
| 3. 「名詞+する」から作られた「하다動詞」のいろいろ！ 62 | 6. 「거든요」を使って理由を言おう！ 64 |

第7課 存在詞で「いる」「ある」を表わそう！ 66

1. 「いる」と「ある」は同じ「있다」でOK！ 66
2. 韓国語の位置や方向の言い方を覚えよう！ 67
3. 「いない」と「ない」は同じ「없다」でOK！ 69
4. 相手が目上・年上の場合は「いらっしゃる・いらっしゃらない」の意味の言葉を使おう！ 70
5. 「ある」の尊敬表現「있으시다 ございます」の意味の言葉を使おう！ 71

第8課 形容詞の変化も動詞とそっくり！ 74

1. 形容詞の別名は「状態動詞」という！？ 74
2. 「기(～こと)」を使って形容詞で説明しよう！ 75
3. 形容詞にも「하다」の付くものがある！ 76
4. パラエティに富む「같다」(同じだ)の使い方！ 77

第9課 さまざまな疑問文を使いこなそう！ 84

1. 日本人にとってわかりやすい「바니까?」疑問文！ 84
2. もう1つの疑問文, 「아/어/여요?」疑問文に慣れよう！ 85
3. 「아니면」(それとも)を使った疑問文！ 85
4. 疑問詞疑問文を英語, 日本語の構造との徹底比較！ 86
5. 「誰か・誰も」や「何か・何も」の表わし方 87
6. 数を尋ねる表現「몇」を使おう！ 88
7. 年齢の尋ね方は相手によって変わる！？ 89
8. 長さ, 重さなど「程度」を尋ねる疑問文！ 89

第10課 韓国語には欠かせない尊敬表現をマスター！ 92

1. 尊敬語について 92
2. 「召し上がる」などの別の表現もしっかり覚えておこう！ 94
3. 禁止を表わす尊敬表現 95
4. 尊敬表現を使うルールを覚えよう！ 95
5. 합니다体の命令形と勧誘形を使えるようになるう！ 97
6. 確認の「지요(죠)」や「이다」を尊敬表現にしよう！ 99
7. 名詞や助詞の尊敬表現を覚えておこう！ 100
8. 8つの変格動詞をマスターしよう！ 100

第11課 いろいろな副詞を使いこなそう！ 108

1. 副詞ってなに？ 108

第12課 動作の進行や希望表現をマスターしよう！ 116

1. 「～している(ところ)」を表わす進行形を作ろう！ 116
2. 「고 있다」の尊敬表現「고 계시다」を使おう！ 120
3. 「～したい」を表わす希望形を作ろう！ 120

第13課 過去や未来のことを語れるようになろう！ 126

1. 過去形の作り方をマスターしよう！ 126
2. 過去形の否定文や疑問文を作ろう！ 128
3. 形容詞も同じように過去形にしよう！ 130
4. 過去完了の表現「았/였/였었」を過去表現と使いわけよう！ 130
5. 「思出す」「思い出せない」を韓国語で試してみよう！ 131
6. 未来形(意志表現)の作り方をマスターしよう！ 131
7. 形容詞も同じように未来形にしよう！ 134

第14課 仮定・義務・可能など表現の幅を広げよう！ 138

1. 条件を表わす ‘(으)면 (～すれば)’ を使った表現をマスターしよう！ 138
2. ‘도 (～も)’ を使った表現をマスターしよう！ 141
3. その他、義務・可能・経験の表現をマスターしよう！ 143

第15課 文を接続してスムーズな会話につなげよう！ 152

1. 「～なので」「～だけど」という順接・逆接表現を知ろう！ 152
2. 「～したとき」「～した後」という時間的な前後を説明しよう！ 156
3. 「だから」「でも」などの接続の表現を覚えよう！ 160
4. いろいろな意味をもつ助詞 ‘(0)나!’ 163
5. 名詞と名詞をつなげることばをマスターしよう！ 164

第16課 「～する人」など、動詞で名詞を説明しよう！ 172

1. ‘는’ を使って、動詞の現在形・現在進行形で修飾しよう！ 172
2. ‘을/을’ を使って、動詞の未来形で修飾しよう！ 173
3. ‘ㄴ/은’ を使って、動詞の過去形・完了形で修飾しよう！ 174
4. ‘던’ を使って、回想していることを表わそう！ 175
5. ‘았던, 있던, 였던’ を使って、過去・完了したことの回想を表わそう！ 176
6. 形容詞で名詞を修飾しよう！ 177

第17課 動詞を「される」「させる」に変化させよう！ 180

1. 「(人に) ～される」「(人に) ～された」と言えるようになろう！ 180
2. 「(人に) ～させる」「(人に) ～させた」と言えるようになろう！ 181

第18課 動詞をつなげて表現力アップ！ 184

1. ‘(으)러 가다(오다) ～しに行く(来る)’ と行動の目的を言おう！ 184
2. 「～して…する(なる)」と行動の前提を話そう！ 184
3. 動詞を名詞のように扱う ‘기’ を使った文を作ろう！ 185
4. 「～してみる」「～しようとする」など微妙な表現をしよう！ 186

第19課 比較など一歩進んだ表現を習得しよう！ 190

1. 原級「同じくらい～だ」を韓国語で言ってみよう！ 190
2. 比較級「～より…だ」を韓国語で言ってみよう！ 190
3. 最上級「最も～だ」を韓国語で言ってみよう！ 191
4. 気持ちを込めた表現や含みのある表現をしよう！ 191

第20課 パンマルを使って友だち同士で会話しよう！ 194

1. 반말 (パンマル) とは 194
2. 確認の語尾 ‘지요(죠)’ をパンマルにしよう！ 196
3. 「～だよ」などの名詞につくパンマルの語尾を使おう！ 196

快速マスター 「会話表現」 編

第1課	まずは基本中の基本, あいさつ表現!	200
第2課	「別れ」の表現!	202
第3課	韓国語で自己紹介にチャレンジ!	204
第4課	「感謝」「謝罪」の表現をマスター!	208
第5課	「感情」を表現してみよう!	212
第6課	ホテル・レストランで!	216
第7課	買物での会話はこれでばっちり!	224
第8課	街中で韓国語を話す&トラブルに対処しよう!	226
第9課	韓国人が来日したときに使える表現!	232
第10課	韓国人の友だちとの会話を楽しもう!	236

巻末付録	244
------	-----

必修基礎単語 1700 語 244

反切表 (ハングル早見表) 280

【コラム】

韓国語の単語について (日本語に聞こえる表現編 / 漢字の読み方編) 83

日常よく使うちょっとした表現 1 207

日常よく使うちょっとした表現 2 210

韓国語の単語について (하다 動詞 / 形容詞編) 223

韓国語の単語について (似かよった単語編) 242

【装丁】 早瀬芳文

【ナレーション】 林周禧 (イム・ジュヒ)

本書の特長と使い方

本書の7大特長

これまで出版されてきた韓国語学習のための本は、旅行で場当たりの使用目的のものや、大学の授業向けに作られているため、一人で学習するには難解なもの、また検定に対応できるように内容がしっかりしている本が見つからなかったために、韓国語がいつまでたっても上達しないという方もいるのではないのでしょうか。本書では、そういった韓国語学習者の不満をなくすために、数々の工夫がなされています。

1. 韓国語文法内容の精選と、基本単語での徹底練習

入門者がある言語の文法を全て一度に覚えるのは、膨大な時間がかかりますし効果的ではありません。そこで、難解なものは省くものの、基礎文法全体をカバーできるよう工夫しました。また、単に基礎文法を紹介しているだけでは、日本語のような多くの活用をもっている韓国語を習得するのは難解です。そこで、基本単語で各文法単元を練習できるように練習表を用意しました。

2. 発音する時のコツ

韓国語の激音・濃音などの発音は難しく、文字で説明するのは困難ですが、類書とは違った本書に特長的なコツで表わしました。

3. 日本語との対比

韓国語はS + O + V構造なので、かなり日本語とそっくりな配列となっています。文型がひと目でわかるよう理解しやすく配慮しました。また、韓国語を学ぶ上でまず覚えるべきなのは丁寧語「～です」「～ます」ですが、いつまでも丁寧語で話していると本当に仲良くなるための壁となってしまいます。そこで本書では、丁寧語をしっかりと学んだ後にパンマル（タメ口）をも習得できるように工夫しました。

4. 単語・表現の精選・分類

あまり使わない単語を極力省き、日常会話で使用頻度の高い単語・表現で、かつハン検5級～4級で頻出のものを精選し、独自に分類しました。また、韓国語には元々が漢字からきている「漢字語」が多く、これを活用して記憶の定着をスムーズなものとするのを試みました。

5. 文法構造の論理的説明

感覚的につかむことも大切ですが、論理的に理解することが学習を促進させますので、なぜそういった構造になるのか？ ということの説明をしています。

6. 文法・発音・会話・単語の4大構成

本書は「文法のみ」「会話のみ」ではなく、一冊マスターすれば文法も会話も基礎力がつくように作られています。CDを併用して1課を中心にして発音を学ぶことができますし、巻末に単語集もついていますので、基本単語を無駄なく身につけることができます。また、コラムでは学習理論を元にした「韓国語の効率的な学習法」や、会話で頻繁に使われるにも関わらず、あまり類書で紹介されることのなかった「日常よく使うちょっとした表現」などを紹介しています。

7. ヒアリング対策 CD

本を読むだけでは韓国語の会話能力はつきません。例文は実際的なものを厳選しました。CDを活用してヒアリングとスピーキングを伸ばしましょう。xv ページにヒアリング対策 CD の効果的な学習法について記します。

●●● 韓国語オススメ学習法 ●●●

韓国語に限らず何かを学習をする際、とにかく多くの時間を費やせば、その分野をマスターするのにいいかと言うと、そうではありません。やはり、「いかに少ない時間で多くのことが学べるか」ということを念頭に置いているかどうかで、進歩は格段に違ってきます。そこで、ここではそのことについて紹介したいと思います。

1. 本当に学びたいものは何か？ 目標を立てよう！

韓国語に限らず、何か目標を立てて取り組むことは、それを達成しようと努力することからモチベーションアップにつながり、目標を達成した時の達成感が得られるわけですが、これはすべての進歩発展にあてはまり、大きなスキルアップにつながります。

それは到達度、時間を始めとして明確であればあるほど実現性を帯びてきます。ひとつ大きな目標を立て、その大きな目標に到達するまでにいくつかの小さな目標を立てるといいでしょう。例えば「韓国語」という分野で考えられる大きな目標は、「韓国語通訳ガイド試験合格」や「ハングル検定試験1級突破」、「韓国語を武器にする仕事に就くこと」などが考えられます。「難なく韓国語を使いこなせるようになること」などでもいいですが、「難なく」がどのレベルを差すのかがはっきりせず、目標の軸がブレやすいことに気を付けなければなりません。また、小さな目標とし

ては「ハングル検定5級～4級合格」や「韓国語を母国語とする友だちと日本語を使わず、終始韓国語で会話できるようになること」でもいいかもしれません。

例えば、3ヵ月後に韓国に赴任することが確定し、そのためにどうしても韓国語をある程度習得しなければならない場合が考えられます。その時は一気に重要度が高まり、明確な目標に向かって集中的な努力が出来るでしょう。ですから検定試験などを目指して勉強するというのは、人為的に海外赴任に時のような必要性を生み出し、勉強のモチベーションを高め、明確な目標を設定し、ポジティブなプレッシャー（責任感）を自分に課すという点で非常に効果的です。ぜひ自分で目標を設定して、モチベーションを保ちながら韓国語をいっしょに学習しましょう！

2. 多読乱読よりも復習を！

本を速く読んだり（速読）、複数の本をがむしゃらにたくさん読んだり（多読乱読）することは、少なくとも初級レベルではあまり意味がありません。複数の本を読むと、何度も同じ分野を読むことになるので覚えられるようになるかもしれませんが、1冊の本を読み込んだ方がほぼ同じような効果が得られ、しかも低コストですみます。

そこで、まずは本書のような1冊の初級レベルの本を完全にマスターすること。その際に（電子辞書も含めた）辞書を持っていると、なお良いでしょう。初級の本1冊を読み込んで何度も復習し、初級レベルをクリアするとはじめて中級に進めます。韓国語の文法表現は、日本語のようにかなり複雑で、下手をすると「かなり難解な表現を覚えたのに、簡単なことが言えない」なんてことになりかねません。あまり詳しくすぎる文法の本は今には手につかない方が賢明でしょう。本書を終えてから、応用的な表現を覚えるために別の難易度の高い本に移るのがよいと思われます。

3. 学習に適した時間や場所を決めよう！

いつでもどこでも満足した学習ができる！ といった人はここを読み飛ばしても構いません。ですが大抵の場合、「なかなか覚えられない」「効率的な学習法を知りたい」ということがあると思います。

そこで、まずは時間の使い方についてです。みなさんは各々の生活がありますので、自由に時間を使えるわけではないと思いますが、2時間をだらだら勉強するなら、30分～1時間を集中して勉強する方がいいと言えます。だらだらした2時間では結局時間の浪費ばかりで、頭も働かずに終わってしまいます。勉強する時間というのはきっちり守って続けることが大切です。例えば、30分だけは絶対に集中すると心に決めて勉強し、その後は勉強した箇所のCDパートをかけながすといいでしょう。

例えば、多忙な社会人が韓国語を学習する場合、一日に集中して机に向かってす

る勉強は30分ぐらいしかないけれど、通勤や車の中でCDを聞く時間が2～3時間ある人は、そういった環境を最大限生かして1日3時間勉強する最短距離学習法で基づいた勉強をしなければ続かないし、効果が期待できないでしょう。

次に、単語などの暗記が必要な部分での時間の使い方についてです。やはり語学などの分野では、暗記しなければならない部分があることは致し方ありません。例えば、単語を暗記するのに1時間費やすとします。その1時間は「19時から20時」のような続いた1時間ではなくて、10分を6回に分けた1時間の方がより効果が期待できます。もし1時間続けて同じことをしていれば飽きてしまいますし、集中力は低下してしまいます。ですが10分を6回という風に分けると、忘れかけたものをもう一度学習しなおす再学習効果が得られ、忘れかけた脳に何度も刺激を与えることで忘れにくくすることができます。

また、暗記するのに最適な時間帯は夜寝る前と朝起きたときだと考えられます。夜寝る直前に頭の中に暗記事項（例えば単語）を入れて繰り返してから、そのままベッドに入って寝てください。朝目が覚めて、まず「夜に覚えたはずの暗記事項」を自分でテストしてみて、間違ったところをすぐに覚えなおしてください。そうすることで、より頭の中に暗記事項が定着しやすくなります。私たちが普段起きている間は、目から耳から色んな情報が入ってくることによって、古い情報は忘れて薄まっていってしまいます。つまり暗記しても、次に他のことを考えたりしているうちに忘れてしまうのです。そこで、寝る前に暗記してすぐに寝ると、覚えた暗記事項は頭の中で長時間保持され、それを朝起きたときに確認テストすることで、格段の暗記力アップが望めますし、よく眠れば、朝起きたときはとても良いコンディションで頭を使うことができるでしょう。

最後に場所の選び方についてです。場所は人によってかなり向き不向きがあると思われれます。例えば机に向かってイスに座るのがいいか、お膳に向かって床に座るのがいいか、他には1人になれる場所がいいか、図書館のような公共の場所がいいかなどさまざまです。比較的自分が集中して勉強ができる場所がどこなのかを見極め、「前に図書館で集中できたから、もう一度行ってみよう」など、うまくいった場所を決めてやるのがいいでしょう。もし集中できなければ、場所や時間帯などコンディションを変えてみてはいかがでしょうか。

4. 五感をフルに活用しよう！

五感とは、視覚・嗅覚・聴覚・触覚・味覚の5種類の感覚のことを指します。実際には嗅覚や味覚を活用するのは難しいですが、できる限りの人の持つ感覚を活用しようという意味です。

例えば単語の場合、「単語帳を読んで覚える」人や「単語を書いて覚える」人など色々なタイプの人がいるでしょう。どちらが得意かは人それぞれだと思いますが、全部一気に使って覚えるのはいかがでしょうか。

まず目で単語を見て（視覚）、自分でその単語の発音をしながら（五感ではないですが、「声を発する」として「発した自分の声を自分の耳で聴く（聴覚）」の2つが同時にできます）、その単語をペンで紙に書きます（触覚）。さらに、頭で「なんでこの単語はこんな形をしているんだろう」「発音はゴロで覚えられないかな」「日本語の○○に似ているな」「多分こういう成り立ちでこの言葉を使うんだな（これは自分の思い込みで間違っているかもしれませんが、とにかく覚えてしまうことが最初は大事）」「あ～ここ、日本語と違って微妙に使う表現がズレてるんだ！」と考えながら、その考えたことを声に出すことで、さらにその過程が脳に刺激を与え覚えやすくなります。

ここに、単語に対してダンスの振り付けでも考えられたら最高です（単語1つずつに振り付けは難しいですが…（笑））。とにかく、「その単語との思い出」をたくさん作ることで、その単語のことを覚えて仲良くなれるでしょう！ 嗅覚や味覚を使う方法は今のところ思いつきませんが、ぜひみなさんで考えてみてください。

5. 本書を使った効率的な学習法とは？

韓国語に限らず、語学学習全般に言えることですが、会話か読解・文法かどちらかに偏ってしまうことがよくあります。文字のある文化での「ことば」は本来どちらかではなく、両方で成り立っているものです。会話中心の本だけで勉強しても応用力をつけるのは難しいですし、文法中心の本だけで勉強しても実際の場面で話すことは難しいでしょう。

文法を学びながら、毎日韓国語を話す環境で暮らすことが最短かと思われませんが、それができなくても悲観することはありません！ 文法中心よりも会話中心で学びたいとしても、大人になってから外国語を学ぶには文法をないがしろにすることはできません。

具体的な学習する順番としては、まず簡単な表現（あいさつなど）から入っても良いでしょう。次に文法の大きな枠組み（大事な部分）に沿って学んでいきます。その際シャドウイングを忘れずに！ それと平行して、最重要単語の語彙を確実にしていきます。大きな枠組みの学習が最後までたどりつけば、次はもう一度最初に戻って、大きな枠組みでは覚えきれなかった部分の学習と平行して、次に重要な単語の語彙を確実にしていきます。その後は個々人が必要とするレベルまで文法と語彙力の強化を行います。ある程度文法と語彙数が得られたら（余裕のある方は同時進行でも構いません）、会話でよく使うフレーズを声に出して何度も読むことで、体に浸透させていきます。

このような段階をおって学習していく方法をスモール・ステップと呼びますが、それを行うには適切な教材が必要です。本書はスモール・ステップを重視して構成されています。

外国語を上達させるには日々の努力が必要です。覚えきれていないのに先に進んでしまうと学習の効率が悪くなるので、次々進んでしまうのではなく、できるだけ復習しつつ先に進みましょう。次のように、毎日、前日の復習をしつつ土日を復習日にするのもいいでしょう。繰り返し学習することが大切です。

学習例

月曜日	1 課
火曜日	1 課復習 + 2 課
水曜日	2 課復習 + 3 課
木曜日	3 課復習 + 4 課
金曜日	4 課復習 + 5 課
土曜日	1 課～5 課復習（特に5 課）
日曜日	1 課～5 課復習

■ じっくり学習に取り組み、韓国語を絶対マスターしたい人

まず文法編の第1課～第20課、その後会話編の第1課～第10課を1日1課のペースで30日間かけて読んでいきます。余裕がある場合は前の日に学んだ課を復習しつつ進めるのがいいでしょう。全部読み終えた後、もう一度第1課に戻って文法編を1日1課「まとめ」の部分を読んで分からなかった部分や、あいまいな部分を本文に戻って調べて読みます（単語も同様、覚えなおします）。会話編は同時進行で1課ずつ読みなおします。1日1課というのは、ひとつの目安として考えてください。巻末の単語集も語彙力UPに役立ててください。

P. x の3でも紹介したように、「何度も繰り返す」ということが非常に大切です。単語を覚える際も、1日10個なら10個と決め、次の日に覚えているか自分でテストし、記憶があやしいものはさらに翌日へ繰り返し越していくというやり方が効率的です。1日50個のように数を多くし、例えばそのうち翌日に忘れてしまった単語（例えば20個）と、新たな単語（この場合例えば30個）を合わせることで、復習しながら大量に単語を覚えていく方法もあります。その場合も週末に1週間の単語をチェックするなど、復習は度々行いましょう。

これを何度も繰り返し、この一冊が完璧になれば基本文法・会話はほぼ完璧です。難易度の高い本に移って細かい文法規則・語彙力増強・会話力増強に励むといいで

しょう。

■ 趣味や国際交流で気楽に学びたい人

趣味や国際交流に必要な事項は、本書にコンパクトにまとめられていますので、文法編を1課ずつ読み進めていき、会話編を使って会話実践をできるだけ増やしましょう。ただ、会話重視であっても文法がなければ、薄っぺらい会話しかできませんので、文法編もぜひマスターしてみてください。

まず文法編第1課と第2課の発音やハングル文字をマスターしましょう。韓国語は文字を覚えるのが難しいですが、その代わりに日本語と似ている部分が多いため、会話に向いている言語です。ハングル文字が読めなくても会話ができればいいという方は、文字よりもCDや会話編での学習を中心にするといいかもしれません。ただし、第2課で出てくるパッチムや第4課の名詞、第5～7課の動詞の活用の仕組みなどは知っていた方が効率よく学習ができることは間違いありません。ぜひ最初の方は入念に読み込んでみましょう！

■ もうすでに学習経験があり、復習や初級のまとめをしたい人

文法編には各課にまとめをつけています。まとめをまず読んでいくことで大まかな文法項目が押さえられているか点検することができます。また、巻末に単語集をつけていますので、完全に覚えている自信のないものをチェックし、本編へと戻って読むこともできます。敬語表現はなかなかマスターするのは難しいですので、第10課はぜひ気をつけて読んでみてください。

ヒアリング対策 CD の効果的な学習法

韓国語の効果的な学習法は、英語と同じく、耳で聞いてそのままそっくり真似する、つまり「シャドウイング」、「リプロダクション」を、毎日最低30分間実践していくことです。それによって韓国語のヒアリング、リスニング力を鍛えながら、激音、濃音といった韓国語の発音、イントネーションを体に染み込ませ、韓国語のセンスを養うことができます。

しかし、最初からテキストを見ないでシャドウイング、リプロダクションは無理ですので、最初はテキストを見ながら、そっくり真似て言う、つまり「テキスト補助シャドウイング」というのを行ないます。シャドウイングはリプロダクションと違って、1センテンスを聞き終えるのを待たずに、1語聞き終えたらすかさずに、追いかけてナレーションを真似て再現していくやり方です。これでも、全くの入門者にとっては、ナレーションのスピードが速すぎますので、再生スピードを調整できるMDプレーヤーか何かで30%ほど遅くするのがいいでしょう。しかし、それではナチュラルな韓国語に慣れることができないので、徐々にノーマルスピードに戻していきます。

次にリプロダクショントレーニングというのを行ないます。これはテキストを見ないで、ナレーションの1センテンスを聞いた後、それとそっくり同じものを再現するというもので、あいさつのような短いものは簡単ですが、長くなってくると何度も聞かないとできないため、リスニング力を鍛えると同時に、韓国語の「発信力」をUPさせることができます。数回聞いてもできない場合は、テキストを見ても構いませんが、この時に韓国語を聞いて書き取るディクテーション練習と並行して行なうのも一案です。

最後に、総仕上げの『シャドウイング』です。これは全くテキストを見ないで行ないますので、全く初めて聞く題材で行なう場合は、英語においては通訳士などを目指す上級者向けの学習法なので、入門者には全くついていけないものと言えます。しかし、「テキスト補助シャドウイング」と「リプロダクション」のトレーニングを行ない、かなり覚えたものを総復習し記憶を強化する場合はそれほど難しくなく行なうことができ、しかも抜群の効果を発揮し、韓国語のリスニング力、発信力をグーンとUPさせることができます。これは電車の中でも、歩きながらでも、家事をしながらでもできるトレーニングで、最初はノーマルスピードで行ない、次に25%速くしてシャドウイングできるようにトレーニングしていきます。と同時にた

だ聞くときは、50%速くして聞くようにし、それに耳を鳴らしていけばリスニングの上達は速くなります。

このように語学の習得においては、音声を聞いてそれを真似て声に出して言うという、長期的記憶を作りやすい「音声認識記憶学習」が非常に重要です。そこでそれを実践していくための効果的例文が重要になってきます。その意味で、本書で収録された例文は、韓国語の文法力、会話表現力、必須語彙力の超効果的 UP を可能にするものと信じています。

それでは明日に向かって

Let's enjoy the process! (陽は必ず昇る！)

1 ハングル文字の種類はこれだけ！

韓国語を学ぶときには、まず**ハングル文字**を覚える必要があります。ハングル文字は子音と母音を組み合わせて作りますが、以下のような種類があります。組み合わせに使用する子音・母音の数は40個です。激音と濃音については後で説明してあります。

母音	ㅏ	ㅑ	ㅓ	ㅕ	ㅗ	ㅛ	ㅜ	ㅠ	ㅡ	ㅣ	
合成母音	ㅘ	ㅙ	ㅚ	ㅜ	ㅝ	ㅞ	ㅟ	ㅠ	ㅡ	ㅢ	ㅣ
子音	ㄱ	ㄴ	ㄷ	ㄹ	ㄱ	ㅋ	ㅇ	ㅅ	ㅆ	ㅈ	ㅊ
子音（激音）	ㅋ	ㅌ	ㅍ	ㅍ							
子音（濃音）	ㄱ	ㄴ	ㄷ	ㄹ	ㄱ						

「子音と母音を組み合わせて作る」という点が英語にそっくりですので、アルファベットと対応させて覚えると効率がいいと思います。詳しくは後の項で説明するとして、まずはハングル文字がどう作られているか、それをどのように読めばいいのかを見ていきましょう！

2 ハングル文字の作り方と読み方！

ひとつの文字を作るときには必ず子音と母音がセットになります。文字の構成は3通りのパターンに分けられます。また発音する際も、「左から右、上から下」という順番で読んでいきます。これが基本になりますので、このことをしっかり覚えておきましょう！

まずここでは練習のために、アルファベットに当てはめると「ㄱ = M」「ㅏ = A」「ㄴ = N」「ㅘ = H」となることを覚えておいてください。

A. 左側（または上）に子音，右側（または下）に母音（子音1つ+母音1つ）の文字

例：가다（行く），보다（見る），대다（触れる）など

Disc 1 02 -1

마

この場合，アルファベットに置き換えてみると

MA

 となり，“MA（日本語では「ま」）”となります。

B. 左上（または上）に子音，右上（または中央）に母音，下側にもう一つ子音がある文字

例：먹다（食べる），울다（泣く），듣다（聞く）など

Disc 1 02 -2

만

この場合，アルファベットに置き換えてみると

MA
N

 となり，“MAN（日本語では「まん」）”となります。

C. 左上（または上）に子音，右上（または中央）に母音，下側に二つの子音（複合子音）がある文字

例：읽다（読む），짧다（短い），싫어하다（嫌う）など

Disc 1 02 -3

막

この場合，アルファベットに置き換えてみると

MA
LK

 となり，“MALK（日本語では「ま LK（最後に母音がなく，発音・表記できず）」）”となります。

以上のように，ハングル文字の子音・母音をアルファベットと置き換えてみると，これまでただの記号にしか見えなかった文字も読めるような気がしてきました。この上にくる（ここでは上部左側）子音のことを**初声**，その次にくる母音（ここでは上部右側のㅏ）のことを**中声**，最後に下につける子音のことを**終声**と呼びます。さて，上記Cの例では最後にLとKが余ってしまっています。それでは次項で，このような最後に残った子音をどのように扱うかを見てみましょう！

3

ハングル文字にもリエゾンが？！

ハングル文字の組み合わせには本課の2で説明したとおり、「子音+母音」、「子音+母音+子音」、「子音+母音+子音+子音」という3通りがあり、「子音+母音」を除いて、他のパターンでは最後に子音が残ってしまいますが、ハングル文字では、英語やフランス語と同じように「最後の子音は次の文字の母音と合わせて発音」し、子音が続く場合は、「その子音の口の構えのまま空気を出さずに止める」ことになり、この下部に残る子音のことを**パッチム**と呼びます。

それでは、次の例を見てください。

例1：最後の子音を次の文字の母音と合わせて発音する場合

注：「ㅎ = H, ㅏ = A, ㅑ = L, ㅇ = 子音なし, ㅂ = B, ㅓ = O, ㅕ = J, ㅣ = I」として読んでください。*アルファベットの“O”とは、ㅓの方が音が近いですが、ここではㅓを表わすアルファベットがないため、仮にㅓ = Oとしています。詳しくは7ページを参照。

할아버지

意味：おじいさん

Disc 1 03 -1

HA	A	BO	JI
L			

読み方：HALABOJI（ハラボジ）

→ L + Aで「ラ」と読み、前の文字下部の子音と次の文字の母音がつながっている（パッチム）ことがわかる。

例2：最初の子音は口の構えのまま、空気を出さずに止める場合

할머니

意味：おばあさん

Disc 1 03 -2

HA	MO	NI
L		

読み方：HALMONI（ハルモニ）

→ “L”の次に“M”がくるため、舌の位置はLを発音する状態にして止め、MOと発音。

4

母音の発音を覚えよう！

ハングルの母音は全部で21個あります。その中でも基本となる「基本母音」の

10個と、基本母音を合わせた「合成母音」の11個に分かれます。英語では母音の場合、子音はつきませんが、**ハングル文字では子音の影響が全くゼロの場合（母音の音のみ）では、子音の部分に「ㅇ」をつけることを覚えておきましょう！**

英語：	A	I	U	E	O
日本語：	あ	い	う	え	お
韓国語：	아	이	우	에	오

以上の基本を踏まえた上で、母音の違いを覚えていきましょう！
まずは**基本母音**の10個です。



아 [a]	日本語の「あ」とほぼ同じで、口を大きく開けて発音する。
야 [ja]	日本語の「や」とほぼ同じで、口を大きく開けて発音する。
어 [ɔ]	「あ」と「お」の中間にあたる音で、口をトよりは狭めるがオよりは広げるといった発音になる。日本語の「お」より曖昧な「お」。
여 [jɔ]	「や」と「よ」の中間にあたる音で口を、야よりは狭めるが요よりは広げるといった発音になる。日本語の「よ」より曖昧な「よ」。
오 [o]	日本語の「お」より、口をはっきりつきだして発音する。
요 [jo]	日本語の「よ」より、口をはっきりつきだして発音する。
우 [u]	日本語の「う」より、口をはっきりつきだして発音する。
유 [ju]	日本語の「ゆ」より、口をはっきりつきだして発音する。
으 [ɯ]	唇を「い」の形にして、「う」と発音する。
이 [i]	日本語の「い」の口を作り（上下の歯を合わせる）はっきり「い」を発音する。

基本母音について ①

日本語では、母音が「あいうえお」の5つしかないの、「あ」と「お」の区別のみははっきりしています。一方、韓国語では次のページのように、段階別に口の開きが変わっていきます。日本語に照らし合わせると一番上の「아」「야」は「あ」「や」、上から3番目の「오」「요」は「お」「よ」と区別をつけることができますが、2番目の「어」「여」は日本語では表わしきれず、口を「あ→お」「や→よ」に狭める過程に存在する曖昧な母音だといえます。

	ア行	ヤ行		
↓口を狭めていく↓	아	야	口を大きく開ける。	
	어	여	口を意識して開けず，軽く開いた状態にする。	
↓口を突き出した状態	오	요	口を意識してやや大げさに突き出す（縦に少し開く）。	
	우	유	口を意識してやや大げさに突き出す（縦に開かない）。	
↓口を横に広げた状態	으	이	口を意識して「い」の口を保つ。	

基本母音について ②

韓国語を学ぶ際、ハングルがなかなか読めるようにならずに挫折してしまう方が多くいると思われ、ハングル文字に見慣れない人にとっては、ここがまず第一の関門ではないでしょうか。「基本母音について ①」では、口の開ける大きさから母音について考えてみましたが、「基本母音について ②」では、また違った角度から母音について考えてみましょう。

「ハングルは陰陽道の陰陽五行説をもとにしている」と、ハングルの創設した世宗大王は述べています。「ㄷ, ㅌ, ㅊ, ㅌ」は上や右側（外側）は天から出るということで陽を表わし、「ㄱ, ㅋ, ㆁ, ㆁ」は下や左側（内側）は地から出るということで陰を表わします。このことから「ㄷ, ㅌ, ㅊ, ㅌ」は明るい母音として陽母音、「ㄱ, ㅋ, ㆁ, ㆁ」は暗い母音として陰母音と呼ばれています。また、「ㅡ」は地を表わし陰に含まれますが、「ㅣ」は人を表わし、人は万物の霊長であるので陰・陽どちらにもなることができ、どちらにも属さない中性母音とされていました。「・」という母音（ㅏ, ㅑ, ㅓ, ㅕなどの短い棒のみ）も、ハングルが作られたときには存在しましたが、今ではこの母音は使われていません。

次に**合成母音**の11個を覚えましょう！ 合成母音は、基本母音の2つの組み合わせからできています。このことを意識して文字を見てみると、合成母音を覚えるのに基本母音の知識が役に立ちます。以下を見ていきましょう！

애 [ɛ] (ㅏ + ㅣ)	日本語の「え」よりも、口を横に大きく広げて発音する。
ऐ [jɛ] (ㅏ + ㅣ)	日本語の「い」と「え」を滑らかにつなげて、口を大きく横に広げて「いえ」と発音する。
에 [e] (ㅏ + ㅣ)	日本語の「え」とほぼ同じで口を軽く開ける。ㅍと似た音だが、それほど口を大きく広げない。
예 [je] (ㅏ + ㅣ)	日本語の「いえ」とほぼ同じ発音。ㅍと似た音だが、それほど口を大きく広げない。
와 [wa] (ㅓ + ㅏ)	日本語の「お」と「あ」を滑らかにつなげて発音すると「わ」と聞こえ、日本語の「わ」とほぼ同じ発音となる。
왜 [wɛ] (ㅓ + ㅍ)	日本語の「お」からㅍの発音（口を横に大きく広げた「え」）につなげて「おえ」と発音するが、実際「うえ」と聞こえる。
외 [we] (ㅓ + ㅣ)	日本語の「うえ」を、口を大きく広げないで発音する。これも本来「お」から「え」につなげて「おえ」と発音するものだが、実際はㅍと同じように「うえ」と聞こえる。
위 [wo] (ㅜ + ㅏ)	日本語の「う」よりはっきり口をつきだした状態から、「お」へと滑らかにつなげて「うお」と発音する。
워 [we] (ㅜ + ㅍ)	日本語の「う」よりはっきり口をつきだした状態から、「え」へと滑らかにつなげて「うえ」と発音する。
위 [wi] (ㅜ + ㅣ)	日本語の「う」よりはっきり口をつきだした状態から、「い」へと滑らかにつなげて「うい」と発音する。
의 [wi] (ㅡ + ㅣ)	口を横にひいた状態で、「うい」と発音する。

Point

今日の

1. ハングル文字は、子音と母音の組み合わせ（子音+母音，子音+母音+子音，子音+母音+子音+子音）からできており、「最後の子音は次の文字の母音と合わせて発音」し、子音が続く場合は、「その子音の口の構えのまま空気を出さずに止める」ことになり、この下部に残る子音のことを**パッチム**と呼ぶ。
2. ハングルの母音は21個あり、その中でも基本となる「基本母音」の10個と、基本母音を合わせた「合成母音」の11個に分かれる。

1 子音の発音を覚えよう！

ハングルの子音は19個あり、**平音・激音・濃音**の3つに分かれます。これらは日本人にとって発音の区別が難しいものですが、韓国語をする上での基本となりますので、CDをよく聞いて何度も練習することで、上手に発音できるようがんばりましょう！

平音	日本語の「か」「さ」「た」「な」「ま」「ら」「ちゃ」にあたる。息を前に吐き出さないようにする発音。
激音	日本語の「か」「さ」「た」「は」「ちゃ」「ば」を発音する際、息を強く前に吐き出すもの。
濃音	日本語の「か」「さ」「た」「ば」「ちゃ」の前に「っ」をつけて発音するもの。「っか」「っさ」「った」「っば」「っちゃ」とつまらせた状態から発音するとよい。

* () 内は、子音字の名前です。覚えておくと文字を聞く際に役立ちます。



ㄱ [k, g] (キョク)	日本語の「か」行と「が」行にあたる子音。語頭にきているときには「か」行、語中に入っているときには「が」行と濁る。
ㄴ [n] (ニウン)	日本語の「な」行にあたる子音。
ㄷ [t, d] (ティグツ)	日本語の「た」行と「だ」行にあたる子音。語頭にきているときには「た」行、語中に入っているときには「だ」行と濁る。
ㄹ [r] (リウル)	日本語の「ら」行にあたる子音。
ㅁ [m] (ミウム)	日本語の「ま」行にあたる子音。

ㅂ [p, b] (ピウッ)	日本語の「ば」行と「ぱ」行にあたる子音。語頭にきているときには「ば」行、語中に入っているときには「ぱ」行と濁る。
ㅅ [s, ʃ] (シオッ)	日本語の「さ」行にあたる子音。語中でも濁らないので注意。
ㅇ [—] (イウン)	母音を表わす。つまり、子音としての音がないことを表わす。
ㅈ [t, dʒ] (チウッ)	日本語の「ちゃ」行にあたる子音。ただし、発音する際に息が前に出ないように注意する。語中に入っているときには「ぢゃ」行と濁る。
ㅊ [tʰ] (チウッ) 息を強く吐き出して	日本語の「ちゃ」行より、息を強く吐き出して発音する。 ㅈ としっかり区別して発音するように注意。
ㅋ [kʰ] (キウッ) 息を強く吐き出して	日本語の「か」行より、息を強く吐き出して発音する。 ㄱ としっかり区別して発音するように注意。
ㅌ [tʰ] (ティウッ) 息を強く吐き出して	日本語の「た」行より、息を強く吐き出して発音する。 ㄷ としっかり区別して発音するように注意。
ㅍ [pʰ] (ピウッ) 息を強く吐き出して	日本語の「ぱ」行より、息を強く吐き出して発音する。 ㅂ としっかり区別して発音するように注意。
ㅎ [h] (ヒウッ)	日本語の「は」行にあたる子音。

 Disc 1 06 -2

ㅍㅏ [ʔk] (ッサンギョク)	「真っ赤（まっか）」と言ったときの「っか」にあたる発音。息を前に吐き出さないように気をつけて発音する。
ㅍㅑ [ʔt] (ッサンティグッ)	「会った（あった）」と言ったときの「った」にあたる発音。息を前に吐き出さないように気をつけて発音する。

ㅍ [ʰp] (ッサンビウフ)	「ラッパ (らっぱ) と言ったときの「っぱ」にあたる発音。息を前に吐き出さないように気をつけて発音する。
ㅍ [ʰs, ʰj] (ッサンシオフ)	「喝采 (かっさい) と言ったときの「っさ」にあたる発音。息を前に吐き出さないように気をつけて発音する。
ㅍ [ʰtj] (ッサンジウフ)	「タッチ (たっち) と言ったときの「っち」にあたる発音。息を前に吐き出さないように気をつけて発音する。

子音について

1 課では、陰陽五行説に基づいた母音の成り立ちについて説明しましたが、ここでは陰陽五行説に基づいた子音の成り立ちについて紹介します。ハンゲルの子音の形は口や舌などの構音器官をかたどって作られています。

ㄱ	舌の奥がのどを閉ざす形
ㄴ	舌が上あごに付く形
ㅇ	口 (くちびる) が合わさった形
ㄷ	歯の形
ㅇ	のどの形

どうでしょうか？ そう言われてみれば、そう見えなくもないかもしれません。ぜひ口の形、舌の形をイメージしてみてください。

また激音などについても、「声を激しく出すので1画加える」という法則によって作られています。

ㄱ → **ㅋ** **ㄴ** → **ㄸ** → **ㅌ** **ㅇ** → **ㆁ** → **ㅇ** **ㄷ** → **ㅌ** → **ㅎ** **ㅇ** → **ㅇ** → **ㅇ**

また、**ㄸ** (舌の形をかたどっている) と **ㅌ** (歯の形をかたどっている) は陰陽五行説においての在り方が異なるので1画加えなかったそうです。その後、**ㅌ** と **ㅇ**、**ㅇ** は現在使用されておらず、**ㅇ** は ng という音価を表わしていましたが、その後音価が失われたことによって、**ㅇ** と混用されるようになり1933年に統一されることとなりました。

「パッチム」の発音について

1 課の3では、子音が続く場合「その子音の口の構えのまま空気を出さずに止める」という風に説明しました。最後に残った子音が **ㄱ**、**ㄸ**、**ㅌ**、**ㅎ**、**ㅋ**、**ㅌ** の場合、そ

の子音の口の構えのまま止めると、「っ」といったつまった音になるため、ほとんど同じように聞こえますが、最後に残った子音が **ㄱ**, **ㅇ** や **ㄴ**, **ㄹ**, **ㄷ**, **ㄱ**, **ㅇ**, または **ㄷ** の場合ではやや聞こえ方が変わってきます。

ㄱ, ㅇが最後に残った場合

これらはアルファベットで表わすと、P系統の発音になりますので、口の形は唇を閉じたままで単語の発音が終わります。次の **3** の **㉓** で説明している例外にも通じることですが、唇を閉じたままですので実質 **ㄷ** で発音を終えているのと同じになります。

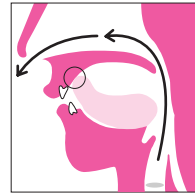
ㄴ, ㄹ, ㅇが最後に残った場合

これらはアルファベットで表わすと、「N, M, NG」となります。日本語で表わすと全て「ん（**ㄷ**は「む」とも言えますが）」になりますが、英語の発音と同じく **ㄴ** は上あごに舌の先をあてたまま終わる「ん」、**ㄹ** は唇を閉じたまま終わる「ん（または「む」の唇で発音せずに終わる)」、**ㅇ** は上あごの後ろの方で舌の奥をあてたまま終わる「ん」という風になります。

「ㄴ」は上あごに舌の先をあてたまま終わる「ん」

Disc 1 07 -1

「案内（あんない）」というときの「ん」です。
上あごに舌の先がついた状態で発音を終わります。



「ㄷ」は唇を閉じたまま終わる「ん（または「む」の唇で発音せずに終わる)」

Disc 1 07 -2

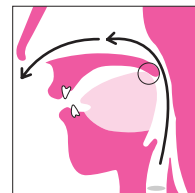
「新米（しんまい）」というときの「ん」です。
唇を閉じた状態で発音を終わります。



「ㅇ」は上あごの後ろの方で舌の奥をあてたまま終わる「ん」

Disc 1 07 -3

「案内」というときの「ん」です。
舌の奥が上あごに触れた状態で発音を終わります。



「ㄹ」が最後に残った場合

これはアルファベットで表わすと「L」となりますので、この子音で単語が終わる場合、舌を上あごにあて、ら行の発音をする構えをした状態で終わります。

2 ハングルを書く練習をしよう！

さて、これまでハングルを母音、子音と学んできましたが、もうすらすらと書けるようになりましたか？ もうすでにハングルを学ばれたことがある方には、きっとできる方もいらっしゃると思いますが、初めて本書でハングルを学ばれた方は、そんなに早く覚えることは難しいと思います。そこで、ぜひ日常生活の中でハングルを書く練習をしてみてください。また、最近では日本でも韓国語表記が増えてきましたので、街中のハングルを読むこともいいでしょう。では、まずは下のハングルを読んでみてください。

가 기 구 게 고

なんて読みましたか？ 「かきくけこ」ですか？ 答えは違います。「かぎぐげご」になります。2課の初めで学んだとおり、「語中では濁る」のです。ですので、もし「かきくけこ」と表記したいときは、「**가 키 쿠 케 코**」になります。では次はいかがでしょうか。

다 티 트 테 토

はい、もう大丈夫ですね。「たちつてと」…ではないんですね（笑）、これだと「たていとうてと」になってしまいました。ぢは語中では「じ」なんです。ぢは文頭に来ると「ち」ですが、文中に来ると「じ」になるということでした。ちなみに「づ」や「ず」はㅈを使いますが、韓国語には「ず（づ）」に相当する文字がなく、これを発音すると「じゅ」に聞こえてしまいます。だから日本語を話せる方が「みず（水）」のことをよく「みじゅ」と言うてしまうのですね。日本人にとって韓国語の発音が難しいのと同じく、韓国語を母語とする人にとっては、日本語の発音が難しいということでしょう。話が少しそれましたが、ハングルを使って日本語を表記してみるなどして、ぜひハングル文字に慣れ親しんでください。

	아	이	우	에	오
	あ	い	う	え	お

語頭	가	기	구	계	고
	か	き	く	け	こ

語中	카	키	쿠	케이	코
	か	き	く	け	こ

	사	시	스	세	소
	さ	し	す	せ	そ

語頭	다	지	쓰	테	도
	た	ち	つ	て	と

語中	타	치	쓰	테	토
	た	ち	つ	て	と

	나	니	누	네	노
	な	に	ぬ	ね	の

	하	히	후	헤	호
	は	ひ	ふ	へ	ほ

	마	미	무	메	모
	ま	み	む	め	も

	야		유		요
	や		ゆ		よ

	라	리	루	레	로
	ら	り	る	れ	ろ

	와			오	ㄴ
	わ			を	ん

	가	기	구	계	고
	が	ぎ	ぐ	げ	ご

	자	지	즈	제	조
	ざ	じ	ず	ぜ	ぞ

	다	지	즈	테	도
	だ	ぢ	づ	て	ど

	바	비	부	베	보
	ば	び	ぶ	べ	ぼ

	파	피	푸	페	포
	ぱ	ぴ	ぷ	ぺ	ぽ

語頭	가	구	교
	きゃ	きゅ	きょ

語中	카	쿠	코
	きゃ	きゅ	きょ

	샤	슈	쇼
	しゃ	しゅ	しょ

語頭	자	주	조
	ちゃ	ちゅ	ちょ

語中	차	추	초
	ちゃ	ちゅ	ちょ

	냐	뉴	뇨
	にゃ	にゅ	にょ

	하	휴	효
	ひゃ	ひゅ	ひょ

	마	뮤	묘
	みゃ	みゅ	みょ

	라	류	료
	りゃ	りゅ	りょ

	가	구	교
	ぎゃ	ぎゅ	ぎょ

	자	주	조
	じゃ	じゅ	じょ

	바	뷰	뷰
	びゃ	びゅ	びょ

	파	퓨	표
	ぴゃ	ぴゅ	ぴょ

はんせつ
《反切表》(ハングル早見表)は、巻末付録の
280ページを参照。

3 発音のルールを詳しく覚えよう！

韓国語には発音のルールがやや細かく決まっています。一度にすべて覚えるのは大変ですので、最初にどんなルールがあるかをざっと見て簡単に覚え、のちのちに勉強する際に何度もここを復習したり、参照したりしながら少しずつ覚えていきましょう！

1 パッチムの後に母音がきたときは音が連なる（連音化）。→ P.6 参照

* [] 内は実際の発音。
금요일 クミヨイル（金曜日） クム+ヨイル=クミヨイル [크요일]
발음 パルム（発音） パル+ウム=パルム [바름]

2 平音は、語頭ではなく語中に入ると濁って読む（濁音化）。→ P.12-13 参照

자전거 チャヂョンゴ（自転車） × チャチョンコ ○チャヂョンゴ
계단 ケダン（階段） × ケタン ○ケダン

3 ㄱ系のパッチム ㄱ, ㅋ, ㆁ, ㄷ, ㅌ → ㄴ
ㄷ系のパッチム ㄷ, ㅌ, ㅍ, ㅍ, ㅌ, ㅍ → ㄷ + ㄷ, ㄴ
ㄹ系のパッチム ㄹ, ㄹ, ㄹ, ㄹ, ㄹ → ㄴ
ㄱ系, ㄷ系, ㄹ系のパッチムは、鼻音の子音 ㄷ, ㄴが後にくると鼻音になる（鼻音化）。

* [] 内は実際の発音。
한국말 ハングンマル（韓国語） ハングク+マル=ハングンマル [한궁말]
작년 チャンニョン（昨年） チャク+ニョン=チャンニョン [장년]
입니다 イムニダ（～です） イブ+ニダ=イムニダ [입니다]

4 平音 ㄱ, ㄷ, ㄹ, ㅌ, ㅍは、直前にㄱ, ㄷ, ㅌ, ㅍ, ㄹパッチムがくると濃音になる（濃音化）。パッチムのところで、しっかり口の構えをすれば自然に濃音（「っ」という風につまる音）になる。

* [] 内は実際の発音。
학교 ハッキョ（学校） ハク+キョ=ハッキョ [하교]
식당 シクタン（食堂） シク+タン=シクタン（シッタン） [식탕]

5 漢字語で、ㄷパッチムで終わる文字の、次がㄷ, ㅌ, ㅍで始まる文字だと、ㄷㅌと濃音になる（濃音化）。

* [] 内は実際の発音。

발달 パルタル (発達) [발달]

출장 チュルチャン (出張) [출짱]

6

ㄱ, ㅇパッチムで終わる文字の, 次がㄷで始まる文字だと, ㄷはㄴと発音される (ほぼ漢字語の場合)。

* [] 内は実際の発音。

심리학 シムニハク (心理学) × シムリハク ○シムニハク [심니학]

종로 チョンノ (鐘路) × チョンロ ○チョンノ [종노]

7

ㄱ, ㄷ, ㄷパッチムで終わる文字の, 次がㄷで始まる文字だと, ㄷはㄴと発音され, ㄱ, ㄷ, ㄷはㅇ, ㄱ, ㄴと㉓のように鼻音化する。

* [] 内は実際の発音。

독립 トンニプ (独立) × トクリプ ○トンニプ [동닙]

협력 ヒヨムニョク (協力) × ヒヨムリョク ○ヒヨムニョク [협녁]

8

平音ㄱ, ㄷ, ㄷ, ㅇは, 直前または直後にㅎがくると激音になる (激音化)。またㄴ+ㅎではㄷとなる。ただし, ㅎ+ㄴという組み合わせでは激音化せず, 濃音ㄴとなる (濃音化)。

* [] 内は実際の発音。

입학 イパク (入学) イㅍ+ㅅ+ㅅ=ㅅ [이팍]

따뜻하다 ッタトウッタダ (暖かい) × ッタトウサダ ○ッタトウッタダ [따뜨타다]

좋습니다 チョアッスムニダ (いいです/好きです) × チョハッスムニダ [조쑤니다]

9

ㄷ, ㅇパッチムで終わる文字の, 次がㅇだと, ㄷ, ㅇではなく, ㄷ, ㅇと発音される (口蓋音化)。また, ㄷの後にㅎがくると, 激音化と口蓋音が同時に起こり, ㅇとなる。

* [] 内は実際の発音。

같이 カチ (一緒に) × カティ ○カチ [가치]

닫히다 タチダ (閉まる) × タティダ ○タチダ [다치다]

10

ㄷパッチムの後にㄷで始まる場合, またㄷパッチムの後にㄷで始まる場合は, ㄷㄷとㄷが連続して流れるような発音になる (流音化)。ただし, 란 <乱, 欄> 량 <量> 력 <力> 료 <料> 리 <里> などがついているものはㄷㄷではなくㄷㄷとなる。

* [] 内は実際の発音。

편리 ピョルリ (便利) × ピョンリ ○ピョルリ [펼리]

일년 일리ョン (1年) × イルニョン ○イル리ョン [일련]

- 11 **ㅎ**パッチムや, **ㅁ**, **ㅂ**パッチムの後に母音がくると, **ㅎ**の音を発音しない(無音化)。また, **ㅎ**が語頭に出てくる場合は, は行の発音をするが, 語中に出てくる場合(例えば, **안녕히 가세요** (アンニョンイ ガセヨ) など)では発音は弱まり, あ行に近くなる。ただし, 漢字語や**하다**動詞・**하다**形容詞の**ㅎ**ははっきり発音する。

싫어하다 シロハダ (嫌いだ) × シルホハダ ○シロハダ [시러하다]
영화 ヨンファ (映画)

* [] 内は実際の発音。

- 12 **의**が語頭にある場合は, 本来の発音**의**(ウイ)と発音するが, 語中では**이**(イ)と発音し, **회**など**ㅇ**(イウン)以外の子音で発音される場合も**이**(イ)と発音する。また助詞の**의**(~の)として使われる場合は**에**(エ)と発音する。

의미 ウイミ (意味) → 本来の発音**의**(ウイ)で発音する
회의 フェイ (会議) → **이**(イ)で発音する
흰색 ヒンセク (白色) → **이**(イ)で発音する
우리의 ウリエ (わたしたちの) → **에**(エ)と発音する

* [] 内は実際の発音。

- 13 **예**は, **ㅇ**(イウン)で発音される場合は本来の**예**(イエ)と発音するが, **ㅇ**(イウン)以外の子音で発音される場合は**에**(エ)と発音する。

예약 イェヤク (予約) → 本来の発音**예**(イエ)で発音する
시계 シゲ (時計) → **에**(エ)と発音する

* [] 内は実際の発音。

*また, 長母音というものがあり, 単語によっては母音を少しだけ長く伸ばして発音するものがあります。ハングルを書く上での記号はなく, 辞書をひくと“:”で示してあります。辞書で確認してみて, 日本語の“ー”ほどは伸ばしすぎないように注意して発音しましょう。Ex. **한:국** (韓国), **좋:다** (良い), **멀:다** (遠い)

*“**읽**”や“**읽**”のように2つの文字からなるパッチム(複合パッチム)では, 左側のパッチムを読むか右側のパッチムを読むかは一定に決まっていません。“**읽다**(読む)”の場合, 語尾が**ㅁ**パッチムで始まる場合を除いて左側の**ㅁ**を読みますが, 他の名詞・動詞などについては, 使っていく中で徐々に覚えていけばよいでしょう。

アッという間にマスター！ ハングル記憶術

- ① **아** (右側がト) は「アット驚く」の「ア」で簡単！
 - ② **어** (内向きの短い線) は, **아** (ア) に近い“O”に向いた曖昧な「オ」！
 - ③ **오** (上向きの縦線) は, 縦線が“O”に向いているので「オ」！
 - ④ **우** (下向きの縦線) は, 「うつむいている」の「ウ」！
 - ⑤ **으** (下側が横線) は, 唇を横に引いたウの発音！
 - ⑥ **이** (右側がIの形) は, 「イ“I”」の発音とそっくり！
 - ⑦ **에** (内向きの短い線) は, 内向きで少し控え目な「エ」！
 - ⑧ **애** (右側がエを回転させた形) は, エの発音とそっくり！
* **야, 여, 유, 요, 예, 애**の発音は, 線が1本→2本になるとア行→ヤ行になると覚えればOK！
- ① **ㄱ** (肩の形) は「**カタ** (肩)」の**カ**行で簡単！
 - ② **ㄴ** (Lの形) は「**ナル** (L)」の**ナ**行で簡単！
 - ③ **ㅋ** (コの逆さま) は「逆さま**コトコト**」の**タ**行で簡単！
 - ④ **ㄷ** (漢字の己) は「**オノレ** (己)」の**ラ**行で簡単！
 - ⑤ **ㅁ** (くちの形) は「**口** (**マウス**)」の**マ**行で簡単！
 - ⑥ **ㅂ** (桶の形) は「**桶にブツ** (put) と入れる」の**パ**行で簡単！
 - ⑦ **ㅅ** (漢字の人) は「**人を指す**」の**サ**行で簡単！
 - ⑧ **ㅈ** (帽子の形) は「**ハット** (hat)」の**ハ**行で簡単！

さて、みなさんお疲れさまでした。以上で韓国語の発音とハングル文字のレッスンはすべて終了です。韓国語の挫折の原因の一つはやはりハングル文字を覚えきれないことや、動詞などの活用を覚えきれないことにあります。韓国語は日本語に似ていて、最初は簡単のように思える一方で、ハングル文字を覚えることが第一関門になってしまい、そこであえなくリタイヤしてしまう人が多くいます。本書では、極力いろいろな視点からハングル文字を覚えられるように工夫をし、さらに耳から入る学習としてCDも付属していますので、大変ながらもぜひエンジョイしてトレーニングに励んでください。そうすれば、みなさんもこの1冊を読み終えたころにはハングル文字にも見慣れ、韓国語も耳に馴染むことだと思います。ぜひ一緒にがんばって本書を読破しましょう！

今日の Point

1. ハングルの子音は19個あり、**平音・激音・濃音**の3つに分かれる。これらは韓国語をする上での基本となるのでとても重要。
2. 韓国語には発音のルールがやや細かく決まっている。一度にこれらのルールを覚えてしまうのは難しいので、何度も復習を繰り返し、これらのルールを体に染みつかせることが必要。

韓国語では、日本語の数字の表現に「いち、に、さん」と「ひとつ、ふたつ、みっつ」の2種類あるのと同じように、**韓国語でも2種類の表現があります**。なかなか2種類を使いこなせるようになるには時間がかかるかもしれませんが、数字はやはり基本中の基本で、日常でもよく使う言葉ですので、しっかりマスターしていきましょう！

1 漢字が元になっている韓国語の数字を覚えよう！

まずは韓国語で数字を数えてみましょう。元となっている漢字はもちろん日本語と同じですが、韓国語ではハングル文字で表わすことも多いですので、ハングル文字で書いたり読んだりできるようになりましょう！

Disc 1 08 -1

零 (空)	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十
영 (공)	일	이	삼	사	오	육	칠	팔	구	십

では続けて11から先も数えてみましょう。書き方は99まで日本語と同じですが、100以降では日本語と同じく「一百 일백」という風に「一 일」をつけることなく、「**百 백**」のみでOKです。

Disc 1 08 -2

十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九	二十
십일	십이	십삼	십사	십오	십육	십칠	십팔	십구	이십
二十一	二十二	...							
이십일	이십이								
百	千	万	十万	百万	千万	億	兆		
백	천	만	십만	백만	천만	억	조		

「百백, 千천, 万万, 億억」と口ずさんで、ゴロで一気に覚えてしまいましょう。声に出してみると日本語とそっくりです！

数を読む際、位が飛ぶものも日本語と同じように読みます。

例：100100 (10万100)：십만백 (十万百)

Disc 1 08 -3

次は、日本語の「ひとつ、ふたつ、みっつ」にあたる言い方です。

ひとつ	ふたつ	みっつ	よっつ	いつつ	むっつ	ななつ	やっつ	ここのつ	とお
하나	둘	셋	넷	다섯	여섯	일곱	여덟	아홉	열

日本語では「とお」までしかありませんが、韓国語では99までこの方法で言うていくことができます。これらは数を数えるとき、例えば年齢を数えるときに使います。次を見てみましょう。

 Disc 1 08 -4

11	12	13	14	15	16
열하나	열둘	열셋	열넷	열다섯	열여섯

17	18	19	20	21	22
열일곱	열여덟	열아홉	스물	스물하나	스물둘

30	40	50	60	70	80	90	……
서른	마흔	쉰	예순	일흔	여든	아흔	……

また電話番号を言うときは、日本語の「ゼロ イチ ニーゼロ…」と同じく数字をそのまま読んでいきます。以下の例を見てみましょう！

 Disc 1 08 -5

読み方 **공일이공 - (의) 일이삼사 - (의) 오육(發音は륙) 칠팔**
 0120 - 1234 - 5678

* 「의」は、発音上は「에」になります。

2 韓国語にも「～個，～冊」などの表現がある！

韓国語にも日本語の「個」や「冊」などと同じように、**数字と名詞の間に助数詞を入れる必要があります**。また、助数詞につく数字の読み方は以下のように変わりますので注意しましょう！

 Disc 1 09 -1

하나	→ 한	例: 한개 (1個)	한명 (1名)	한번 (1番)
둘	→ 두	例: 두개 (2個)	두명 (2名)	두번 (2番)
셋	→ 세	例: 세개 (3個)	세명 (3名)	세번 (3番)
넷	→ 네	例: 네개 (4個)	네명 (4名)	네번 (4番)

1個の場合は、「이것 하나 주세요. (これ1個ください。)」と「하나」のみで使うことが多いのですが、2個以上の場合は「이것 두개 주세요 (これ2個ください。)」と、必ず「개 (個)」をつけた形となります。

다섯~열までは、形は変わりません。

Disc 1 09 -2

다섯 例: 다섯 개 (5個) 다섯 명 (5名) 다섯 번 (5回目)
열 例: 열 개 (10個) 열 명 (10名) 열 번 (10回目)

스물 20 → 스무 개 20 (ㄹが脱落)
서른 30 → 서른 개 30
마흔 40 → 마흔 개 40
쉰 50 → 쉰 개 50 (쉰の発音: シュイン)
예순 60 → 예순 개 60
일흔 70 → 일흔 개 70
여든 80 → 여든 개 80
아흔 90 → 아흔 개 90

스물한 개 21個, 스물두 개 22個, 스물세 개 23個…
서른한 개 31個, 서른두 개 32個, 서른세 개 33個…

* 21~29, 31~39 など 99 まではこの形式で表わすことができます。

では、次に助数詞の中でも主なものを挙げておきますので、ぜひ覚えておきましょう！

Disc 1 09 -3

単位	元々の漢字	使う対象・日本語訳
개	個	ものを数えるときに使う。～個
권	卷	本を数える単位。～冊
사람		人を数える単位。～人
명	名	人を数える単位。～名(めい)
번	番	順序や回数を数える単位。～番, ～回目
살		年齢を数える単位。～歳
대	台	車・飛行機などを数える単位。～台
벌	着	衣服を数える単位。～着
자루		鉛筆など、棒状のものを数える単位。～本

마리		魚, 鳥を含めた動物を数える単位。～匹, ～羽, ～頭, ～尾
벌		ペアになっているものを数える単位。～組, ～膳
켈레		靴などを数える単位。～足
층	層	建物の階。～階
쪽(페이지)		ページ数を数えるときに使う。～ページ

3

年月日・曜日は日本語とそっくり!

西暦の表わし方 Disc 1 10 -1

西暦は日本の読み方と同じく、数字を「セン キュウヒヤク キュウジュウ キュウネン」という順番に読みます。「년」は日本語の「年」と同じ漢字の読みで、発音も似ているのでわかりやすいでしょう。

例：천구백구십구 년 (1999年), 이천 년 (2000年)
千九百九十九年 二千年

이천팔 년 (2008年)
二千八 年

また、「199何年」と言うときには、「몇 (いくつ)」という言葉を使います。

例：천구백구십 몇 년 (199何年), 이천 몇 년 (200何年)

月の表わし方 Disc 1 10 -2

月の表わし方も、日本語と同じ漢字の韓国語読みとなっています。以下を見てみましょう。6月, 10月はパッチムが消えてしまうので気をつけましょう!

일월	이월	삼월	사월	오월	유월	칠월
一月	二月	三月	四月	五月	六月	七月
팔월	구월	시월	십일월	십이월	몇월 <small>注</small>	
八月	九月	十月	十一月	十二月	何月 <small>注：読み方は, ミヨドル</small>	

日の表わし方

Disc 1 10 -3

日の表わし方も、日本語と同じ漢字の韓国語読みとなっています。以下を見てみましょう。「一」の読み方と「日（ひ、にち）」の読み方は、韓国語では同じ「일」となるので、「一日（ついたち）」は韓国語で「일일」となります。

一日	二日	三日	四日	五日	…
일일	이일	삼일	사일	오일	…

例：유월 사일（6月4日） 십일월 십칠일（11月17日）

曜日の表わし方

Disc 1 10 -4

曜日の表わし方も、日本語と同じ漢字の韓国語読みとなっています。以下を見てみましょう。1つ1つの漢字が、ハングル文字一つ一つに対応しています。

월요일	화요일	수요일	목요일	금요일	토요일	일요일
月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日

時間帯の表わし方

Disc 1 10 -5

また、日本でも一日を午前・正午・午後という風に分けたり、朝と夜（晩）と言ったりしますが、韓国にもそういった言い方があるので、これも覚えておきましょう。

朝	昼	晩	夕方
아침	점심	밤	저녁
午前	正午	午後	昼間 (日が出ている間)
오전	정오	오후	낮

4 時刻・時間の長さをじっくりマスター！

時刻

Disc 1 11 -1

さらに時刻の読み方です。日本語の1時、2時…と同じ漢字を使い、その漢字を韓国語読みします。「일 이 삼」ではなく、「한 두 세」の読み方をするのがポイントです。「1個、2個」のときと同じ要領で読んでいきましょう。「10時半」など「半」という言い方は韓国語にもあり、「반」と表記・発音します。

한시	두시	세시	…
1時	2時	3時	…

2:02	두시 이분
5:15	다섯시 십오분
7:53	일곱시 오십삼분
10:30	열시 삼십분 / 열시 반 (10時半)
12:59	열두시 오십구분

また、「何時何分?」と尋ねるときには、「몇시 몇분?」と言います。実際には「今、何時ですか?」と言うことが多いと思いますが、韓国語にすると「지금 몇시입니까?」または「지금 몇시예요?」になります。

몇시 몇분?	何時何分?
지금 몇시입니까?	今、何時ですか? 《格式体》
지금 몇시예요?	今、何時ですか? 《非格式体》

時間の長さ Disc 1 -2

「1時」「2時」といった時間のほかに時間の長さ(量)を表わすには、日本語と同じく「1時間」「2時間」というような言い方があります。きっちり使い分けられるようになりましょう!

- ① ~秒間, ~分間という言い方をわざわざしなくても、「1秒」「15分」と言えば時間の長さ(量)も表わせるように、韓国語においても、わざわざ長さ(量)だということを強調するときを除いて「1秒」「15分」と同じ表現を使います。

일초	(1秒)	일초간	(1秒間)
일분	(1分)	일분간	(1分間)
십오분	(15分)	십오분간	(15分間)

- ② ~時間, ~日間, ~週間, ~か月間, ~年間の場合は、「間」がつく場合とつかない場合とで、言い方が変わるので気をつけましょう。

2時	두시	2時間	두시간	3時間	세시간
1日	하루	2日間	이틀(간)	3日間	사흘(간)

*「하루 (1日)」は「1日ずっと, 1日だけ」という風に使う言葉で、「일일 (1日)」は「ついでに」の意味で使います。

1週目	첫째주 (初째週)	1か月間	일개월간 《漢字語》 한달간 《固有語》
2週目	둘째주 (2째週)	2か月間	이개월간 두달간
3週目	셋째주	3か月間	삼개월간 석달간

1年間	일년간	1週間	일주일간
2年間	이년간	2週間	이주간
3年間	삼년간	3週間	삼주간

*「째」は「～目」という意味の固有語で、日本語とは違う位置に入ること注目しましょう。「1週目」のみ、「1」の数字ではなく「初」の漢字語からきていることも注意！

5 お金の表現を身に付けよう！

韓国語でも、日本語と同じく 1000 ウォンは「천 원 (千ウォン)」と表わし、「일천 위 一千ウォン」という言い方はしないので覚えておきましょう。

일 원 (1 ウォン)	오천칠백이십일 원 (5721 ウォン)
천 원 (1000 ウォン)	십만 원 (10 万ウォン)

 Disc 1 12

※ 韓国ウォンの価値は、日本円と比較して1ウォンあたり約0.075円です（2009年5月現在、これに手数料がかかります）。

6 今日、昨日、明日などの言い方

さらに、会話の中でもよく使う今日や明日などの言い方についても覚えておきましょう！

 Disc 1 13

過去 ↓ 未来	그저께	저저번주	저저번달	재작년
	一昨日	先々週	先々月	一昨年
	어제	저번주	저번달	작년
	昨日	先週	先月	昨年
	오늘	이번주	이번달	올해
	今日	今週	今月	今年
내일	다음주	다음달	내년	
明日	来週	来月	来年	
모래	다다음주	다다음달	내후년 (이년후 [2年後])	
明後日	来々週	来々月	再来年	

7

毎日・毎週・毎月・毎年の言い方はたくさん！

毎日・毎週・毎月・毎年といった言葉は、これらの漢字をそのまま韓国語で音読みしたもの（漢字語）と、韓国で独自に作られたもの（固有語）、その二つが混ざったもの（混種語）の3種類があり複雑です。

Disc 1 14

	毎日	毎週	毎月	毎年
固有語	날마다 / 맨날		달마다	해마다
漢字語	매일	매주	매월	매년
混種語		주마다	매달	매해

*特に会話でよく使われるものに色をつけています。

8

大体の数を述べる表現

日本語でも大雑把な表現を使うことがよくありますが、韓国語での表現の仕方を以下に紹介しておきます。

Disc 1 15

전후 (前後)	日時や行事・年齢や身長・体重など
정도 (程度)	～程度, ほど

何百個：몇백개

例：실날 전후 (正月前後), 170cm 전후 (170cm 前後), 30개 정도 (30 個程度)

今日の Point

1. 韓国語の数字の読み方は、日本語と同じく「일이삼 (いち, に, さん)」という読み方と, 「하나 둘 셋 (ひとつ, ふたつ, みっつ)」という読み方の2種類がある。
2. 韓国語にも「～個」「～冊」という助数詞がある。
3. 年月日や曜日も、日本語と同じ漢字の韓国語読みとなっている。
4. 今日・明日や週を表わすのには、漢字の韓国語読みのほか、韓国語独自の固有語、その二つが混ざった混種語がよく使われる。

本課の最重要単語

영 (공)	0
일	1
이	2
삼	3
사	4
오	5
육	6
칠	7
팔	8
구	9
십	10
십일	11
십이	12
십삼	13
십사	14
십오	15
십육	16
십칠	17
십팔	18
십구	19
이십	20
삼십	30
백	百
천	千
만	万
십만	十万
천만	千万
억	億
조	兆

하나	ひとつ
둘	ふたつ
셋	みっつ
넷	よっつ
다섯	いつつ
여섯	むっつ
일곱	ななつ
여덟	やっつ
아홉	ここのつ
열	とお
열하나	11
열둘	12
열셋	13
열넷	14
열다섯	15
열여섯	16
열일곱	17
열여덟	18
열아홉	19
스물	20
스물하나	21
스물둘	22
서른	30
마흔	40
쉰	50
예순	60
일흔	70
여든	80
아흔	90

개	~個
권	~冊
사람	~人
명	~名
번	~番
살	~歲
자루	~本
대	~台
벌	~着
마리	~匹, ~羽, ~頭
벌	~組, ~膳
컬레	~足
층	~階
쪽 (페이지)	~ページ
년	~年
일월	1月
이월	2月
삼월	3月
사월	4月
오월	5月
유월	6月
칠월	7月
팔월	8月
구월	9月
시월	10月
십일월	11月
십이월	12月
몇월	何月
일	~日
하루	一日 (ずっと)
월요일	月曜日
화요일	火曜日
수요일	水曜日
목요일	木曜日
금요일	金曜日
토요일	土曜日
일요일	日曜日
아침	朝
점심	昼
밤	晩
저녁	夕方

오전	午前
정오	正午
오후	午後
낮	昼間
반	~半 (30分)
분	~分
초	~秒
시간	~時間
일간	~日間
주간	~週間
개월간	~か月間
년간	~年間
첫째주	1週目
둘째주	2週目
원	ウォン
오늘	今日
어제	昨日
그저께	一昨日
내일	明日
모레	明後日
이번주	今週
저번주	先週
저저번주	先々週
다음주	來週
다다음주	來々週
이번달	今月
저번달	先月
저저번달	先々月
다음달	來月
다다음달	來々月
올해	今年
작년	昨年
재작년	一昨年
내년	來年
내후년	再來年
날마다, 맨날, 매일	毎日
매주, 주마다	毎週
달마다, 매월, 매달	毎月
해마다, 매년, 매해	毎年
전후	~前後
정도	~程度

1 韓国語の名詞は漢字語がたくさん！

3課では数字について学びました。この4課では韓国語の名詞について学びましょう。韓国語を見ていると、ハングル文字がずら〜っと書いてあって韓国独自の言葉だらけのように見えてきますが、**実際は漢字から成っている言葉が半数以上**です。それでは、どんなものがあるか日本語と比較して見てみましょう！



A. 日本語と発音がそっくりなもの		
무리	ムリ	無理
여유	ヨユ	余裕
계산	ケサン	計算
약속	ヤクソク	約束
가수	カス	歌手
시간	シガン	時間
가족	カジョク	家族
가구	カグ	家具
부분	ブブン	部分
고속도로	コソクドロ	高速道路
주의	チュイ	注意
간판	カンパン	看板
기분	キブン	気分

B. 日本語と発音がかなり似ているもの		
계단	ケダン	階段
안내	アンネ	案内
주부	チュブ	主婦
소개	ソゲ	紹介
사진	サジン	写真
시대	シデ	時代
감사	カムサ	感謝
이내	イネ	以内
약	ヤク	薬
태도	テド	態度
중국	チュングク	中国
지하철	チハチョル	地下鉄
병원	ビョンウォン	病院

いかがでしょうか？ 韓国語には、日本語とそっくりな単語が以上のようにたくさんあります。ハングル文字からいきなり完璧に覚えていくのは難しいので、こういった発音が似ているものを中心に「音から」単語を覚えていきましょう！

2

代名詞を韓日比較してみよう！

指示代名詞



Disc 1 17

韓国語にも「これ、それ、あれ、どれ」といった、物を指し示すときに使う代名詞や、「ここ、そこ、あそこ、どこ」といった、場所を指し示すときに使う代名詞が存在し、それらのことをここでは指示代名詞と呼びます。それらを表で見てください！

	これ, ここ	それ, そこ	あれ, あそこ	どれ, どこ
物	이것[들] イゴツ [ドゥル]	그것[들] クゴツ [ドゥル]	저것[들] チヨゴツ [ドゥル]	어느것 オヌゴツ
場所	여기 ヨギ	저기 コギ	저기 チヨギ	어디 オデイ

* [] 内は複数形の場合。

では、例文を見てみましょう！ まだ文法事項を学んでいませんので、ざっと使われ方を見るだけで結構です。5課、6課…と読み進めていく中で復習として再度読んでみてください。色のついた文字が今回のポイントです。

이것이 무엇입니까?

イゴシ ムオシムニッカ

これは何ですか。

* **무엇** (何)

저것을 주세요.

チヨゴスル チュセヨ

あれをください。

* **주다** (あげる, くれる)

여기가 어디입니까?

ヨギガ オデイムニッカ

ここはどこですか。

저기로 가겠습니다.

コギロ カゲッスムニダ

そこに行きます。

* **가다** (行く)

어느것이 좋습니까?

オヌゴシ チョアッスムニッカ

どれがいいですか。

* **좋다** (良い)

병원은 저기에 있습니다.

ピョンウォスン チヨギエ イッスムニダ

病院は**あそこ**にあります。

* **병원** (病院)

人称代名詞

次に、「私」や「あなた」、「彼」といった人称代名詞を紹介します。韓国語では日本語よりも尊敬表現が豊かなため、呼び方が複数ありますので、よく覚えてしっかりと使い分けできるようにしましょう！

	単 数	複 数
一人称	나 (僕, わたし) 저 (わたくし)	우리 (僕たち, わたしたち) 저희 (わたくしども)
二人称	너 (おまえ) 선생님 (先生) 당신/그대 (あなた) 자네 (きみ)	너희들 (おまえら) 자네들 (きみたち)
三人称	그(분) (彼) 그녀(분) (彼女) 그 남자(분) 《その男性/彼》 그 여자(분) 《その女性/彼女》 그 사람 (その人)	그(분)들 (彼ら) 그녀(분)들 (彼女ら)

上に表として人称代名詞を示しましたが、韓国語では儒教思想からの考え方が強いいため、相手との関係によって言い方を使い分けます。間違えて使うと失礼にあたることも多いので、以下の意味の違いをしっかりと把握しておきましょう！

一人称



Disc 1 18

나 (僕, わたし, 俺)

自分を表わすときに使う基本的な人称代名詞。相手との立場が同じ場合や、相手が目下のときに使います（通常パンマルと一緒に用いられます）。

저 (わたし, わたくし)

自分を表わすときに使う謙譲語の人称代名詞。相手が目上の場合や、初対面の場合に自分を低めることによって、相手を高めます（丁寧体で話すときに「自分」というときは、これを使うとよい）。

우리 (僕たち, わたしたち, 俺たち)

나의複数形の人称代名詞。複数であることを強調するために들をつけて우리들としても同じ意味になります。

저희 (わたくしども)

저의複数形で、謙讓語の人称代名詞。自分たちを低めることによって相手を高めますが、日本語の「わたくしども」という言葉と同じく、저희には相手を含んでいません。

二人称

日本語でも、「きみ」や「あなた」といった言葉をとりたてて言わずに、相手の名前を直接読んだり、役職やあだ名で呼ぶのと同じように、韓国語でも相手を表わす主語を言わないことが多いので注意しましょう！

선생 (님) (先生)

もともと「先生」という意味で、相手を高めるときに使う人称代名詞。単独で呼びかけにも使え、名前の後ろに置くこともできます。日本語で「先生様」は変ですが、韓国語で実際使うときには님 (様) をつけます。

당신 (あなた)

自分と同じくらいの立場を表わしますが、感情を伴い夫婦や恋人関係で使われます。ただし一般的な会話で使われることは少なく、日本語の「あなた」と同じく歌詞・詩の中や、神様など、非常に高い位の相手に対して使う言葉です。一般的でないため、誤った使い方をすると相手を逆に低めてしまうこともあるので、くれぐれも注意しましょう！ 他にも詩や歌詞で使われる그대 (あなた) があります。

자네 (きみ)

同僚や目下の人など大人や、それなりに年のいった友だちに対して、敬意を払って低めるときに使い、日本語の「君〈きみ〉」に近い言葉です。

너 (おまえ)

親しい友達や子どもに対して使う、少し相手を低める人称代名詞です。間違っても目上の人や初対面の相手に対して使わないように気をつけましょう！

너희들 (おまえら)

너 (おまえ) の複数形で、相手を低めていう表現です。

자네들 (きみたち)

자네 (きみ) の複数形を表わす言葉です。

형 / 오빠 (兄, お兄さん)

韓国語では一般的に、あらかじめお互いの歳を聞き、自分より年上の男性には親しみをこめて「お兄さん」と呼びます。男性が「お兄さん」と呼ぶときは형と言い、女性が「お兄さん」と呼ぶときは오빠と言います。

누나 / 언니 (姉, お姉さん)

上と同じく、自分より年上の女性には親しみをこめて「お姉さん」と呼びます。男性が呼ぶときは누나と言い、女性が呼ぶときは언니と言います。

* ちなみに弟のことは남동생, 妹のことは여동생と言いますが、年下に対しては普通、名前で呼ぶなどします。

三人称



Disc 1 19

三人称単数 (彼・彼女) は、代名詞이 (この) / 그 (その) / 저 (あの) と人を表わす이 (人) / 분 (方) / 사람 (人, 人間) の組み合わせで表わします。つまり「この人・その人・あの人」が「彼・彼女」にあたります。

이 = 人 例: **이**이 (この人), **그**이 (その人), **저**이 (あの人)

* **이**は、女性が自分の旦那や恋人のことを表わすときに使われ、一般的な「この人、その人、あの人」という意味では使わない。

분 = 方 例: **이**분 (この方), **그**분 (その方), **저**분 (あの方)

사람 = 人間 例: **이** 사람 (この人), **그** 사람 (その人), **저** 사람 (あの人)

그(분) (彼)

그だけでも「彼」という意味で使うことができますが, 그 사람や그 남자という形が口語では一般的な呼び方です。同じく女性も그녀で「彼女」という意味で使うことができますが, 그 여자가口語では一般的な呼び方です。また, 그は通常、敬意を払って그분とします。

그 남자(분) (その男性／彼)

男性ということを示し、このように言うこともできます。그 남자 (その男) とすると乱暴な言い方になり、これは通常、友達や目下の人に対して使いますが、「その男」という日本語のニュアンスに近くなり、感じの悪いイメージを与えてしまいますので気をつけましょう！

그 여자(분) (その女性／彼女)

女性ということを示し、このように言うこともできます。그 여자 (その女) とすると乱暴な言い方になり、これは通常、友達や目下の人に対して使いますが、「その女」という日本語のニュアンスに近くなり、感じの悪いイメージを与えてしまいますので気をつけましょう！

자기 (自分)

三人称の主語を反復して使う必要があるとき、反復を繰り返さないようにこれを使います。日本で相手のことを「自分」と言うことがあるように、韓国の若者らの間でもこれが用いられています。

韓国語での三人称について

日本語では「彼は…」 「彼女は…」 という言い方を、英語の “he” や “she” ほど使わず、「その人」「あいつ」と言ったり名前をそのまま使ったりするように、韓国語でも그 사람などの言い方や, 그 남자(분), 그 여자(분)などの言い方, または名前を直接言うことが多くあります。

「～さん」を意味する ‘～씨’ について Disc 1 20

フルネーム、もしくは下の名前の後ろに씨をつけることで、「～さん」という意味にすることができます。病院で患者さんと呼ぶときや、仕事関係で「～さん」とつけるときに使いますが、この言葉は日本語と同じく「丁寧だけど親しくない」感じを与える言葉です。ただ、日本語は苗字の後ろに「～さん」とつけますが、韓国語では苗字の後ろにつけるとケンカを売っているように捉えられてしまいますので気をつけましょう。

正しい用法例：김철수씨 (キム チョルスさん), 미경씨 (ミギョンさん)

人称代名詞の変化について Disc 1 21

人称代名詞나, 저, 너は、助詞の가(～が)が後ろにきたとき、形が次のように変わります。詳しくは5課を参照してください。

나가 → 내가 네가 (わたしが)

저가 → 제가 চে가 (わたくしが)

너가 → 네가/니가 네가/니가 (おまえが) *口語では니가と呼ぶことが多い。

*「わたしが」と「おまえが」がかなり似ているので注意！

人称代名詞나, 저, 너は、所有格の의(～の)や助詞の에게(～に)が後ろにき

たとき、音が省略されて次のように変わります。詳しくは5課を参照してください。

나의 → 내 네 (わたしの)

저의 → 제 চে (わたくしの)

너의 → 네／니 네／ニ (おまえの) *口語では니という。

*「わたしの」と「おまえの」がかなり似ているので注意！

나에게 → 내게 네게 (わたしに)

저에게 → 제게 চে게 (わたくしに)

너에게 → 네게／너에게 네게／ノエ게 (おまえに) *口語では너에게という。

*「わたしに」と「おまえに」がかなり似ているので注意！

Point 今日の

1. 韓国語は漢字から成っている言葉が半数以上。
2. 韓国語にも [これ, それ, あれ, どれ] といった, 物を指し示すときに使う代名詞や, [ここ, そこ, あそこ, どこ] といった, 場所を指し示すときに使う代名詞が存在する。
3. 韓国語では日本語よりも尊敬表現が豊かなため, 「私」や「あなた」, 「彼」といった人称代名詞の呼び方が複数ある。
4. 日本語では「彼は…」 「彼女は…」 という言い方を, 英語の “he” や “she” ほど使わず, 「その人」 「あいつ」と言ったり名前をそのまま使ったりするように, 韓国語でも 그 사람などの言い方や 그 남자(분), 그 여자(분)などの言い方, または名前を直接言うことがよくある。
5. 人称代名詞나, 저, 너は, 助詞のが (~가) が後ろにきたとき, 形が ‘**나가** → **내가** ネガ (わたしが)’ ‘**저가** → **제가** チェガ (わたくしが)’ ‘**너가** → **네가** ネガ (おまえが)’ と変化する。
6. 人称代名詞나, 저, 너は, 所有格の의 (~の) や助詞の에게 (~に) が後ろにきたとき, 音が省略されて ‘**나의** → **내** ネ (わたしの)’ ‘**저의** → **제** チェ (わたくしの)’ ‘**너의** → **네** ネ (おまえの)’ となったり, ‘**나에게** → **내게** ネゲ (わたしに)’ ‘**저에게** → **제게** チェゲ (わたくしに)’ ‘**너에게** → **네게** ネゲ (おまえに)’ となる。

本課の最重要単語 (名詞)

무리	無理
여유	余裕
계산	計算
약속	約束
가수	歌手
시간	時間
가족	家族
가구	家具
부분	部分
고속도로	高速道路
주의	注意
간판	看板
기분	気分

계단	階段
안내	案内
주부	主婦
소개	紹介
사진	写真
시대	時代
감사	感謝
이내	以内
약	薬
태도	態度
중국	中国
지하철	地下鉄
병원	病院

本課の最重要単語（代名詞など）

이것(들)	これ（ら）
그것(들)	それ（ら）
저것(들)	あれ（ら）
어느것	どれ
나	わたし、俺、僕
저	わたくし《謙讓表現》
우리(들)	わたしたち
저희	わたくしども《謙讓表現》
선생님	先生、尊敬をこめた呼びかけ表現
당신	あなた
자네	きみ
너	おまえ
너희들	おまえら
형	お兄さん《弟から見て》
오빠	お兄さん《妹から見て》
누나	お姉さん《弟から見て》
언니	お姉さん《妹から見て》
이	～人《この人、あの人という際》
분	～方《この方、あの方という際》
여기	ここ
거기	そこ
저기	あそこ
어디	どこ

사람	～人《この人、あの人という際》、人間
그	彼《文語的》
그녀	彼女《文語的》
그 사람	その人、彼
그 남자	その男、彼
그 남자분	その男性、彼
그 여자	その女、彼女
그 여자분	その女性
자기	自分、《相手に対して》自分
씨	～さん
내가	わたしが、俺が、僕が
제가	わたくしが《謙讓表現》
네가	おまえが《文語》
니가	おまえが《口語》
내	わたしの
제	わたくしの
네	おまえの《文語》
니	おまえの《口語》
내게	わたしに
제게	わたくしに
네게	おまえに《文語》
너에게	おまえに《口語》

本課の新出重要単語

무엇	何
주다	くれる、あげる

가다	行く
좋다	良い

韓国語の3つの壁の突破

韓国語は日本語に似ている言語なので、はじめは軽い気持ちで始める方が多いかもしれませんが、軽い気持ちで始めることは大いに結構です！大歓迎です。ですが、残念なことに、学習者の最初の思惑とは違って、やはり外国語は外国語です。1つの外国語を話せるまでになろうと思えば、少なくない時間や労力も必要となってきます。その際、韓国語の初心者がつまずきやすい点が3つあると筆者は考えます。

まず1つ目はハングル文字の習得です。ハングル文字は記号のようで、これまで使ってきた“仮名”や“漢字”、“アルファベット”とは違い、普段見慣れないものなので、やはり大変なのです。みなさんも初めて英語を学んだとき、ローマ字や英語の不規則な読み方に悩んだりすることはありませんでしたか？ ハングル文字は、アルファベット以上に親しみが薄いという人が多く、難しいことは否めません。そこで、ぜひ1～2課をすみからすみまで読み、最大に活用してください。ハングル文字を暗号のように使って、友だちと手紙の交換をしてみてくださいもいいかもしれません（韓国語で書くのは最初は難しいので、日本語をハングルで書いてみましょう）。

2つ目は、韓国語の発音の習得です。韓国語の母音は日本語よりもかなり多く、子音も平音、激音、濃音と3種類に分かれます。ただ、あまり正確な発音にこだわすぎることは、外国語の習得を妨げてしまいます。言葉はコミュニケーションの手段として存在するので、間違いを恐れず、実際にたくさん発音し、韓国語のネイティブとどンドン話す機会を作ってください。**ア**と**エ**と**オ**の違いなどは、ぜひマスターしてもらいたいところですが、**エ**と**애**の違いは、韓国語のネイティブにすら微妙な違いにしか聞こえませんし、実際の会話の文脈で十分判断が可能です。発音の練習も欠かさず続けていただければ結構ですが、それと並行してぜひ先にも進んでみてください。

3つ目は、単語が覚えられないことや、単語の中でも動詞や形容詞などの活用（変化）に慣れるのに時間がかかることです。効果的な勉強法に関しては、本書の最初に紹介しましたが、声に出して読むなどを実践してみてください。また、韓国語には漢字の韓国語読みからきている“漢字語”も多くあり、日本語の言葉に似ていると思ったら、その都度辞書を引く習慣をつけましょう。例えば、**계산**を引くと「計算」と出てきますし、**정말**を引くと「正一」というふうに出てきます。この“一”の部分は韓国語独自の“固有語”ですので、漢字がないという意味ですが、**말**は「話」という意味の韓国語（の固有語）ですので、「正しい話＝本当の話」ということで**정말**の意味が、なぜ“本当”なのかがわかります。さらに、動詞や形容詞などの活用（変化）については、巻末に活用表を載せましたので、わからなくなればそちらをご覧ください。やはり練習の積み重ねがものを言います。初めから理屈だけで覚えるということは、かなり大変ですので、いろいろな動詞を活用させる練習を欠かさないようにしましょう。

なかなか普通に会話ができるようになるまでは長い道のりですが、本書を通してみなさんを応援していますので、ぜひ韓国語をマスターしましょう！

監修 植田 一三 (うえた・いちそう)

比較コミュニケーション学研究・実用英語教育研究機関 Aquaries School of Communication 学長。ノースウェスタン大学院修了後、テキサス大学コミュニケーション学部で異文化間コミュニケーションを一年間指導。Let's enjoy the process! (陽は必ず昇る!) をモットーに、英検 1 級合格者を 1100 人以上、TOEIC 満点突破者を 30 名以上輩出。著書のうち 25 冊以上はベストセラーで、そのうち 6 冊はアジア 5 か国以上で翻訳されている。最近の主な著書に、『快速マスター中国語』(共著、語研)、『発信型スーパーボキャブラリービルディング』(ベレ出版)がある。

著者 浅井 伸彦 (あさい・のぶひこ)

関西大学卒業。京都教育大学大学院教育学研究科 教育臨床心理学コース修了。臨床心理士。Aquaries School of Communication 比較言語教育研究会会長。教育心理学・語用論の見地から外国語コミュニケーションを徹底研究し、語学の「超人」Ichy Ueda (植田一三)とともに、言語比較・学習心理学・語用論などのあらゆる方法論と、海外生活経験や講師経験から得た知見を駆使した、独自の比較言語的最速外国語学習メソッドを生み出す。著書に『快速マスター中国語』(共著、語研)『快速マスター中国語問題集』(語研)がある。

© Nobuhiko Asai, 2009. Printed in Japan

これ一冊で！基礎を固める

快速マスター韓国語

2009年7月1日 初版第1刷発行
2011年11月15日 第3刷発行

著者 浅井 伸彦
制作 ツティブックス株式会社
発行者 田中 稔
発行所 株式会社 語研
〒101-0064
東京都千代田区猿樂町 2-7-17
電話 03-3291-3986
ファクス 03-3291-6749
振替口座 00140-9-66728
組版 ツティブックス株式会社
印刷・製本 倉敷印刷株式会社

ISBN978-4-87615-194-3 C0087

書名 カイソク マスター カンコクゴ
著者 アサイ ノブヒコ
著作者および発行者の許可なく転載・複製することを禁じます。

定価はカバーに表示してあります。
乱丁本、落丁本はお取り替えいたします。

株式会社語研



語研ホームページ <http://www.goken-net.co.jp/>

【付属 CD について】

韓国語のみ自然な速さで収録してあります。

Disc 1 収録時間：72分 56秒
Disc 2 収録時間：65分 36秒